

584/116

036891

日语注释文选



1

北 京 出 版 社

584/116

封面设计：王成喜

日语注释文选

第一辑

李孙华、吴之荣等注释

*

北京出版社出版

新华书店北京发行所发行

北京印刷二厂印刷

*

787×1092毫米 32开本 2.5印张 46,000字

1979年4月第1版 1979年4月第1次印刷

印数：1—92,000

书号：9071·34 定价：0.22元



目 录

一	級長の願い(班长的请求书)	1
二	三人の時計(三个人的手表)	6
三	矛と盾(矛和盾)	13
四	お母さんの手(妈妈的手)	17
五	スピーチ・コンテスト(演讲比赛会)	23
六	古本屋(旧书店)	28
七	おじさん寒いね(叔叔、您冷吧)	35
八	日本一物語(「做日本第一流的」的故事)	43

級長の願い

小林多喜二①

先生

わたしは今日から休ませてもらいます。みんながじめめ^②にすれば、授業料もおさめられないし、それに前から出すこと^③に決めた戦争のお金^④も出せないから^⑤です。先生も知っているように、わたしは~~たれ~~もウ~~ー~~と勉強してえらくなりたいたいと思っていました。が、吉本さんや平賀さんまで、戦争のお金も出さないようなものはもう友だちにしてやらないと言うん^⑥です。——吉本さんや平賀さんまで遊んでくれなかったら、学校はじごくみたいなものです。

先生、わたしはどんなに戦争のお金を出したいと思っているかわかりません^⑦。しかし、わたしのうちにはお金は一銭もないんです。お父さんはもう六カ月も仕事がなく、姉も妹もろくろくごはんが食べられなくて、だんだん首がほそくなって、泣いてばかりいます^⑧。わたしが学校から帰っていくたびに、うちの中がガラランガラ

かわっていくのです。それなのに、お父さんにお金のことなんか言えますか。でも、みんなが「み国のためだ」というので、この前、ほんとうに思いつて⑥お父さんに話してみました。したら、お父さんはしばらく考えていましたが、とつてもこわい顔をして、み国のためってどういふことだか、先生にきいてこいと言うんです。あとで、男のお父さん⑦が涙をポロポロこぼして、あしたからこじきをしなければ、もう食っていけなくなつた、それにわたしもつれて行くって言ふんです。

先生、お父さんはねるときに、いま戦争に使っているだけのお金があれば、日本中⑧のお父さんみたいな人たちをゆつくり食べさせることができるんだと言いました。——先生はふだんから、貧乏なかわいそうな人を助けてやらなければならなし、人とけんかしてはいけないと言つていましたね。それなのに、どうして戦争してもいいんですか。

先生、お父さんがかわいそうですから、どうか一日も早く⑨戦争なんかやめるようにしてください。したら、お父さんやみんながらくになります。戦争が長くなればなるほど⑩かかりも多くなるし、みんながモットモット食べられなくて、日本もきつとロシヤみたいになる⑪と、お父さんが言っています。

先生、わたしは戦争のお金を出さなくてもいいようにならなければ④、みんなに
じめられますから、どうしても学校には行けません。お願いします。一日も早く戦争
をやめさせてください。ここの長屋では、もうひと月も仕事があれば、みんな役
場へ出かけていくと言っています。そうすれば、日本もきつとロシヤみたいになりま
す。

どうぞ、お願いします。

この手紙を、わたしのところへよく話にくる或る小学校教員がもってきた。高
等科一年の級長の書いたものだそうである。原文のままである。——わたしはこれ
を讀んで、もう一息だと思った①。しかし、この級長はこれからぶつかっていく生活か
らほんとうのことを知るだろう⑤と考えた。

(一九三一年十二月十日)

「小林多喜二の文選」による

注：

① 小林多喜二(こばやし きじ 一九〇三年——一九三三年)は日本の優れた革命作家である。彼は秋田県の
没落した貧しい農家に生まれ、パン工場で働いていた。伯父の援助で高等商業学校を卒業した。そのご
ある銀行に勤めながら在学中からすでに書きはじめていた小説を書きつづけると同時に労働運動に参加し
た。このような自己変革の努力を通じてプロレタリア作家へと成長していった。彼は一九二九年に創立さ

れた日本プロレタリア作家同盟の中央委員にえらばれていた。一九二二年に日本共産党入党、作家同盟書記長として活躍していた。一九三三年二月東京で反動政府に逮捕され、特高の拷問によって虐殺された。彼の代表的作品は「蟹工船」「党生活者」などである。

② 「戦争のお金……」ここで戦争というのは日本軍閥が中国を侵略した戦争のことをさしている。一九三一年九月十八日日本侵略者は中国の東北で戦争を起した、それはいわゆる「満州事変」である。日本反動政府はその戦争を拡大しようとして日本人民から戦争の資金をしほりあげていた。「み国のため」という口実で小学生までがお金を出さなければならなくなった。すでに資本主義世界の経済恐慌にみまわれていた日本人の生活はいつそう苦しくなったので、戦争に反対する気運が高まっていた。

③ 「日本もきつとロシアみたいになる」という級長の父親のことばは一九一七年のロシア革命この十数年間のことを言っている。ロシアのツァーが倒されてからソビエト政権が樹立されたが、帝国主義諸国は武力による干渉を強め国内の反動的匪軍と結託して新生のソビエト政権を倒そうとして国内戦争を起した。そのためソ聯人民の生活は相当苦しかったが、レーニン、スターリンなどの同志が革命をひきいて国内外の敵を撃破して偉大な勝利をおさめた。日本反動政府もその罪惡的な戦争に加担し、日本人民に悪宣伝を行って日本人民をだました。

④ 「もう一息だと思った」ということは作者がこの手紙を読んでそのときの情勢が革命を行うのに有利になったことを言っている。

⑤ 「ほんとうのことを知るだろう」というのは、子供がこれからぶつかっていく生活の中でなぜ働いても働いても生活が苦しいのかその根源はなににあるか、どうすれば苦しみから逃れることができるのかを探索し発見し自覚していったなら必ずロシア革命の道にたどりつき、ロシア革命の正しさを知るだろうと作者が期待をよせている。

注 释

- ① 「し」作为接续助词放在几个平列的句子后面，表示对某些事实的强调、累加或举例，类似汉语「又……又……」的意思。
- ② 「から」作为接续助词放在句后接「だ」或「です」，表示造成前面事件的原因或理由。一般的句型是「…はからだ（です）」，类似汉语「那是……的原因」的意思。
- ③ 「と言うんです」是「と言うのです」的进一步口语化。
- ④ 「どんなに……かわかりません」是「多么……」的意思。
- ⑤ 「泣いてばかりいます」和「泣いているばかり」一样。
- ⑥ 「思いきって」可作副词用，也可作为五段动词「思い切る」的连用形来理解，都是表示「下决心」的意思。
- ⑦ 「男のお父さん」可以理解为「做为男子大丈夫的父亲」。
- ⑧ 「日本中」应读成「にほんじゅう」不能读成「にほんちゅう」。前者是「整个日本」的意思，而后者是「在日本当中」的意思。
- ⑨ 「一日も早く」是一惯用词组，在句中做状语用，表示「尽快地」「尽早地」的意思。
- ⑩ 「动词假定形加ば加同一动词连体形加ほど」是一句型，表示「越来越……」的意思。例如：「戦争が長くなればなるほどかかりも多くなる」就是。
- ⑪ わたしは戦争のお金を出さなくてもいいようにならなければ……」这句话的直译是「如果我要是不成为不拿战争费用也可以那样人的话……」。它的意思是「除非我被批准为免交战费生之外」。

三人の時計

甲乙丙の三人のものが①あるところへ行こうと思つて、その時間をそうだんしました。

「一時半の汽車にしよう②。」と甲が言いました。

「よろしい。しかし、今はなんじだろう。」と乙が言いました。

「一時十分前だ。」と自分の時計を出してみて、丙が言いました。

「君の時計は合っているのか③。」と乙が聞きました。

「ああ、ぼくの時計は正しい。時報に合わせたのだから④。」と丙が答えました。

「いつ合わせたのだ。」と甲が聞きました。

「三日前だ。」と丙が答えました。

「でも、君の時計がおくれるたちなら⑤、君の時計はもう正しくは⑥ないだろう。」と乙が言いました。

「そんなことはない。ぼくはぼくの時計を信じる。」丙はまたきつぱり⑦こう答え
たあとで、甲に聞きました。

「君の時計はなんじだ。」

「十分過ぎだ。」

「ずいぶんすすんでいるね⑧。」と丙がわらいました。

「ああ、ぼくの時計は当てにならない⑨。」と甲が言いました。

「でも、君は君の時計をいつ時報に合わせたのだ。」と乙が甲に聞きました。

「きのうだ。」と甲が答えました。

「きのう、では、三日前に時報に合わせた丙の時計よりは当てになるかもしれない
じゃないか。」

「うん、しかし、ぼくはぼくの時計が信じられない。なんだか⑩ちがつているよう
な気がする。」と甲がうつむいて答えました。

「そんな当てにならない時計を持つていてもしかたがないじゃないか⑪。」と丙が
言いました。「ぼくの時計に合わせたまえ⑫。」

「君の時計が合っているんなら、君の時計に合わせよう。」甲はこう言つて、自分

の時計を丙の時計に合わせました。

「君の時計はなんじだい㉔。」丙はまた乙に聞きました。

「かつきり㉕一時だ。」

「いつ時報に合わせたのだ。」

「おとといだ。」と乙が答えました。

「やはりすすむたちだね㉖。」

「いいや㉗、ぼくの時計はどっちかというと㉘少しおくれるたちなのだ。だから、たぶん今は一時五分すぎぐらいだろう。」と乙が言いました。

「そんなことがあるものか㉙。それはちがつているよ。」と丙がわらって言いました。

「うん、少しはちがつているかもしれない。だが、たいしたちがいはないはずだ㉚。ここから駅まで行くには、どのぐらいかかるだろう。」

「どんなにゆっくり歩いても、二十分あれば十分だ。だから、急がなくてもいい。」と丙が言いました。

「しかし、今が一時五分すぎとすれば、あと、二十五分しかない㉛のだから、ぼく

は一足先に出かけるよ㉔。じゃ、駅で会おう。」乙はこう言つて出ていきました。

「せっかちなやつだなあ㉕。」「気の早い男だねえ㉖。」丙と甲とはこう言つてわらいました。

しかし、それからしばらくたって、甲と丙とが駅へ行つたとき、乙は二人に言いしました。

「汽車はもうでてしまった。ぼくは間に合つた㉗のだが、君たちを待つていたのだ。」

甲と丙とは、おどろいてかおを見合わせました㉘。

「それでは、ぼくの時計はちがつていたのかな。」と丙はかおを赤くして㉙言いました。

「そうだ。君の時計は二十分おくれていたんだ。ぼくのは十分おくれていた。甲の時計が合つていたんだ。」

「そうかなあ。」と甲が、ぼんやり㉚して言いました。

「してみると㉛君が一番利口だった訳㉜だね。」

「そうだね。自分を知っているものが、一番利口だよ。時計は信じるためにあるの

だからね。信じなければなんの役にもたちはしないよ^㉔。まちがった時計を持っていた、それを信じるのはもちろん悪いが、またどんな正しい時計を持っていたも、それを信じなければ、まちがった時計を持っているのと同じことだ^㉕。まちがった時計を信じるものも、正しい時計を信じないものも、どっちも汽車にのることができない^㉖。両方ともばかだからね。自分を知って、信じるねうちのあるものだけを信じるもの^㉗だけが、汽車にのることができるとだね^㉘。」乙はこう言いました。

注 释

① 「三人のものが」里的「もの」是指「人」，就是「三个人」的意思。

② 「……にする」是常见句型。当它前面加体言时表示对该事物的决定。「しよう」是动词「する」的推量形，全句可译成「决定坐一点半的火车吧」。

③ 「君の時計は合っているのか」里的第二个「の」不是格助词，也不是终助词而是做为形式体言出现的。全句可译成「你的表准吗？」。

④ 「時報に合わせたのだから」是「因为对过标准时间了，所以……」的意思，但它在全句中是起补语作用的，所以也可把它放在「ぼくの時計は正しい」的前面或「正しい」的前面，都是「因为我的表对过了，所以是准确的」的意思。

⑤ ⑬ 「たち」是名词，加在某些动词连体形下表示「具有……性质」的意思。一般加在「時計がおくれる」或「時計がすすむ」下，表示钟表的好慢、好快（爱慢、爱快）。

⑥ 这里的助词「は」是附加上去的，它既能起调整语气的作用又能起强调作用。

⑦ 「きっぱり」是副词，在句中做状语，表示「断然」或「斩钉截铁地」的意思。

⑧ 「時計がすすんでいる」是「表快」的意思。初学日语者容易说成「時計が早い」，这是错误的，日语不这样说。

⑨ 「当てになる」和「当てにならない」是惯用词组，是「靠得住」「靠不住」的意思。

⑩ 「なんだか」是副词，它经常和「……ような気がする」连用构成一个句型，是「不知为什么总觉得好象……」的意思。

⑪ 「しかたがないじゃないか」是常见惯用句，一般在反问句或强调时表示「没办法」或「无可奈何」等意思。这里可译成「不也是无济于事吗」。

⑫ 「たまえ」加在动词连用形下，表示命令，它和「なさい」一样。

⑬ 「だい」是助动词「だ」的口语化，相当于「ですか」的意思，一般用于较熟悉的男人或小孩之间的同话。

⑭ 「かつきり」是副词，表示一个完整数量的意思。「かつきり一時」或「一時かつきり」都是「整（正好）一点」的意思。

⑮ 「いや」是感叹词，「いや」的拉长读法。它和「いいえ」一样。

⑯ 「どっちかというと」是常见词组，一般做为接续词用。意思是「说起来是倾向于……」。

⑰ 「そんなことがあるものか」是常见习惯用语，可译为「不可能的事」或「怎么会有那样的事呢」。

⑱ 「はず」一般做为形式体言来表示「原因」「道理」「理所当然」等意思。

⑲ 「……しかない」是常见句型，上接体言表示「只有……」「除……之外，没有……」的意思。

⑳ 「一足先に出かけるよ」是「先走一步」的意思。

㉑ 「せっかちなやつだなあ」译为「真是一个性急的家伙呀」。

㉒ 「気の早い男だね」译为「你真是性质急躁的人啊」。

②④ 「間に合った」是「間に合う」(来得及)的过去式。

②⑤ 「かおを見合わせる」译为「对面互相看」。

②⑥ 「かおを赤くして言いました」里的「赤く」是形容词的连用形，在这里做副词用，下接动词「する」。全句可译成「涨红着脸说」。

②⑦ 「ぼんやり」是副词，下接动词「する」，表示「发呆」「发愣」的意思。

②⑧ 「してみると」是惯用词组，和「してみれば」一样，一般在句中起接续词的作用，是「这样看来」的意思。

②⑨ 「訳」一般做为形式体言，表示「原因」「道理」等意思。

③⑩ 「なんの役にもたはしらないよ」是从「役に立たない」这一常用词组转化来的。「役に」下加助词「も」，「たたない」改成「たはしらない」，这都表示强调。全句可译成「不解决任何问题」或「不起任何作用」。

③⑪ 「……と同じことだ」是「和……一样」的意思。

③⑫ ③⑬ 「……ことができない」常见句型，是「不能够……」的意思，而「……ことができる」是「能够……」的意思。

③⑭ 「信じるねうちのあるもの」的「もの」是指「事物」，而「信じるもの」的「もの」是指「人」，因此这句话可译成「唯有正确理解自己，只相信值得相信的东西的人才能坐上火车」。

矛と盾

このお話は、今から二千年以上も①昔の楚という②国にあったお話です。そのころは、戦国時代でしたから、町には武器を売る家も少なくありませんでした。そしてりっぱな看板が、どこの店にもかけてありました。売る人たちは、なんとかして③、品物を、高い値段でたくさん売ろう④と思うので、一生けんめい宣伝していましたし、買う人たちも、少しでもよい武器⑤を、できるだけ⑥安い値段で買いたいと思い、あちこち⑦の店をさがし回っていました。

「天下第一の矛、天下第一の盾」

ある店の看板に大きな字でこう書いてありました。「天下第一」という⑧文字を見て、数人の武士が、その店の前に立止りました。

「いらっしやいませ。どうぞ中でゆっくり品物をごらんください⑨。」

店の主人は、そのうちの一人のお客さんに向かって、呼びかけました⑩。

「天下第一とはほんとうか？」

その客がたずねました。

「看板にいつわりはありません⑩。」

主人は店の中から鋭い矛を持ってきた、得意になって言いました。

「どうです。この鋭いきつ先は⑪。これこそ⑫ほんとうの天下第一の矛です。どんな堅い岩でも、どんな丈夫な盾でも⑬、突き通すことができます。」

「たしかにりっぱな矛だ。」

客はそう言う、やはり店の中に並べてある、すばらしくりっぱな盾を見ながら⑭、

「あれが天下第一の盾だね。」

と言うのでした。

「はい、そうです。」

主人はすぐその盾を持ってくると、また熱心に話しました⑮。

「これこそ天下第一の盾です。どこをさがしても、こんなすばらしい盾はありません。どんな鋭い矛で突いても、この盾を突きさすことはできません。」